



全国中小企業団体中央会・広島県中小企業団体中央会は、11月12日(水)、広島県広島市・広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)において、第77回中小企業団体全国大会を開催。全国から中小企業団体の代表者約2,100名(本県からは27名)が参集した。

全国中央会・森洋会長の開会挨拶で幕を開け、鈴木憲和・農林水産大臣からのビデオメッセージが披露され、越智俊之・経済産業大臣政務官、山田雅彦・厚生労働審議官、山根健嗣・広島県副知事、中井幹晴・広島市副市長、関根正裕・株式会社商工組合中央金庫代表取締役社長より祝辞が述べられた。



開会挨拶をする
全国中央会
森会長



議長を務める
広島県中央会
伊藤会長

その後、議案審議に入り、広島県中央会・伊藤學人会長が議長に、鳥取県中央会・岩崎陽一会長、熊本県中央会・櫻井一郎会長がそれぞれ副議長に選任され、「中小企業・小規模事業者等の経営環境変化対応、成長促進支援等の拡充」、「中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」、「中小企業・小規模事業者等の連携組織対策の大綱化」等の決議を行った。

小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備」など15項目を決議した。

また、大阪府中央会・野村泰弘会長が意見発表を行い、本大会の意義を内外に表明するため、広島県中小企業団体青年中央会・河合修孝会長が「大会宣言」を高らかに宣した。

続いて、優良組合38組合、組合功労者73名、中央会優秀事務局専従者25名の表彰が執り行われ、本県からは、次の3名がそれぞれ受賞した。

〔優良組合〕
群馬県農業機械
商業協同組合
(木村英男理事長)

大竹会長と
大会会場にて



〔組合功労者〕
神保文明理事長
(群馬県中古自動車販売
商工組合)



〔中央会優秀事務局専従者〕
残間辰彦主任
(総務部情報調査課)



次期全国大会は、令和8年11月19日(木)に、熊本県熊本市において開催することを発表し、大会旗が広島県中央会から熊本県中央会へと継承され、次期開催地の熊本県中央会・櫻井会長が挨拶を行った。

最後に、宮川正・独立行政法人中小企業基盤整備機構理事長による万歳三唱が行われ、閉会した。

- 大会スローガン**
- 一、コスト上昇の価格転嫁を迅速かつ完全に促進する経営環境の整備
 - 一、事業承継並びにスタートアップ支援策の拡充・強化
 - 一、人材の確保・育成と生産性向上による持続可能な成長支援の拡充
 - 一、災害に強い地域づくりと自然災害等からの速やかな復旧・復興支援の強化
 - 一、地域中小企業の実情を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
 - 一、中小企業組合等連携組織対策の大幅な拡充

中央会コース

本会では、全国大会に併せて3日間の中央会コースを設定した。参加者は14名。

11月11日に出発し、広島県福山市にある株式会社キャステムの本社を見学。鋳造業・焼結業を主とする同社は、精密で少ロットの部品製造に適したコストワックスを得意とする。「バズるものづくり」をする企業としてOEM商品も有名であり、多数のメディアにも取り上げられている。企業説明では、これまでに手掛けてきたユニークかつ多彩なアイディアの自社開発商品について紹介があり、工場見学では、日本に数台の貴重な製造機器の数々や社員食堂・社内託児所等の充実した福利厚生の取組みを見聞きした。



清潔感のある工場を見学

広島市内に移動した後、広島郷土料理の老舗にて懇親会を開催した。

大会当日の12日は、平和記念公園にてガイドツアーを実施。今年は戦後80年の節目として、戦争と平



熱心に説明を聞く参加者

和について考える重要な年。原爆ドーム前にて詳しい歴史について話があり、各モニュメント等の持つ背景を学んだ。その後、各自資料館を見学した。



全国大会会場 広島グリーンアリーナにて

昼食後、大会に参加。会場の敷地内では、広島県中央会主催の物産展及び産業展が賑わっており、広島の名産を知り、お土産を購入する等した。

大会終了後は、瀬戸内の新鮮な魚介料理を得意とする老舗にて、懇親会を開催。盛会裏に終了した。

最終日の13日は、瀬戸内海をフェリーで移動し、島全体が「神の島」として崇められている宮島に到着。京都の天橋立、宮城の松島に並ぶ日本三景のひとつである宮島は、“人の生み出した芸術”と“自然”とが調和している場所。参加者は厳島神社の参拝や国の重要文化財である大鳥居を間近で堪能した。



-群馬県の座席より-



高さ16.6mの庄屋の大鳥居

直接来場の皆様も
ご参加ありがとうございました。
